

岡病院だより

Vol.62

令和2年1月1日発行



謹賀新年

医療法人桂水会 岡病院
理事長 岡 治道

皆様方明けましておめでとうございます。

昨年は未曾有の災害の年でしたが、今後地球温暖化に伴い、ますます大きな災害に見舞われることが考えられます。病院だけではなく、地域においても十分な備えが必要となります。

また、本年度は医療費改定の年でもあります。高齢者人口が増加するに伴い、医療費は自然増加し、これを支える若年層はさらに減少するため、国民医療費は圧縮せざるを得ません。

また、働き方改革も導入されることによりますます病院経営は難しくなることが予想されます。このようにあまり先行きが明るくないので、新しい良い年が迎えられるよう、令和になり2度ほど伊勢神宮にお参りに行って参りました。さすがに神頼みだけではご利益がなさそうなので、これからも経営努力を重ね、皆様方の期待に応えられる病院を作りますので、ご支援の程どうぞよろしくお願い申し上げます。





新年の挨拶

副院長 尾崎俊造

新年あけましておめでとうございます。
今年には元号が令和になって初めての年賀を迎えることとなりました。
皆様にはつつがなく新しい年をお迎えのことと存じます。
昨年は地震や地球温暖化に伴う気候変動や災害による被害や、また消費税増税など様々な問題がありました。
今年はこのようなことのない、幸せな1年になってもらいたいものです。
昨年度発表された日本人の平均寿命は女性が87.32歳、男性が81.25歳で、前年と比較して、女性で0.05歳、男性で0.16歳延びております。
この高齢化社会に対して、皆様により過ごしやすい老後を迎えていただくために、昨年岡病院では訪問看護ステーションと訪問リハビリテーション部門を立ち上げました。
これはご自宅にお住いで、何らかの慢性疾患をお持ちの方の生活に対して、看護師や理学療法士がお宅にお伺いして、食事や排泄などの日常生活でのお世話や、介護方法の援助、床ずれの予防、薬の服薬の援助、ターミナルケアなどの相談にのったり、また日常生活を送るための運動機能に問題のある方には、リハビリテーションを行うなどの医療サービスを提供するものです。
何かお困りのある方は、なんでも当院に相談をしていただければ幸いです。
ご相談をお待ちしております。
さて今年は東京2020、東京オリンピックの開催も予定されております。
その時には、我々日本人がワンチームとして、一丸となって、「日本」を応援することが想像されます。
何かこのことが、社会に対して、ささやかな希望とか期待をもたらしてくれるような感じがしているのは私一人だけでしょうか？
皆様にとって本年は素晴らしい年となることをお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

事務長 岡崎洋介

昨年はラグビーワールドカップにより埼玉県を中心に全国が大いに盛り上がり、友人同士や親子でタックルをし合いケガをしたという苦笑い話を何件か耳にしました。
今年には東京オリンピックがあり、種目によっては埼玉県や北海道等の他県にも会場があるため全国的に益々盛り上がるのではないかと期待しております。
昨年は3,119万人を超える訪日外国人観光客がいたようですがこれらの影響もありさらに増加する気がしますね。ただ心配なのが、オリンピックに向けて道路の整備をしたり外国人用の店舗やサービスの充実を図っているようですが、それらを運営する人員が足りているのだろうか、という点です。
実は岡病院もいくら募集をかけても中々充足できない職種があり、特に介護要員（病院では「看護補助者」という名称）が常時と言って良いほど不足しております。これは当院だけでなく近隣の病院や施設にも伺って見たところ、やはり同様らしく募集広告費だけが支払われ続けているような状況でした。そこで色々と検討した結果、最近耳にするようになった外国人実習生制度を利用する事にしまして、1月から2名と4月から9名の実習生が配置される事となり、大きな期待をしております。面接時からある程度日本語が話せており、さらに実習生の母国や日本の学校にて言語や文化の学習を行ってから配置されるので仕事面ではそこまで心配はしていないのですが、生活面において買い物や食事がきちんとできるようになったりするまで色々教えていかなければと思っております。
病院関係だけでもこのような状況なので、政府が発表するように建設業、サービス業、製造業、飲食店等様々な業種で今後外国人人材の需要が増すと思われます。標準語と関西弁のバイリンガルである私も他の言語を覚えた方が良いかなあと思っはいるのですが、ダイエットと同じで思うだけで中々実行できておりません。
とはいえ、私個人の言語能力や全国的な人員不足を心配する前に、まずは本庄市をはじめ近隣地域に貢献できるようにと試行錯誤しております。
我々岡病院の職員一同は皆様によりよく利用して頂ける施設として日々精進してまいりますので、どうぞ本年も宜しくお祈り致します。

あいさつ



新年の挨拶

副院長 大久保 誠 司

新年明けましておめでとう御座います。皆様には健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。30年間続いた「平成」の時代が幕を閉じ、「令和」という新元号のもと初めての新年となりました。東京で2回目のオリンピックが開催される2020年は、日本にとって歴史の節目となります。また、今年は「子年」にあたり、再び新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。昨年は、8月に九州北部佐賀県において大雨、9月には台風15号による首都圏直撃、10月には台風19号の大雨と自然災害による甚大な被害を被った年でありました。台風19号では県北部でも川の氾濫に備え避難勧告が発令され不安な時間を過ごされた方も多数いらっしゃったかと思います。医療における災害対策では厚生労働省が所管する広域災害医療情報システムにより被害状況の把握をし、迅速な医療支援体制をとり被災者支援を行います。今後も自然の脅威を克服する様々な方策や事業がとられると思います。医療においても予防医学や最先端医療など様々な疾病を克服する努力がなされています。技術革新の速度は緩むことなく突き進み格段の進歩を遂げています。しかし、人と人が触れ合う医療現場においては患者様一人ひとりとしっかりと向き合いながら不安を抱くその傍らで一緒に考え、悩み、ともに治療に関わることは不変することの無いことであり当院職員はそのことを常に心がけて従事しております。最後に本年も地域の皆様が当院をご活用頂き健やかな日々が送れますよう祈念いたしまして新年の御挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

看護部長 徳 世 良 重

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

2019年、平成から令和に時代が移り変わりました。令和の時代は超高齢化社会の到来です。団塊ジュニアが65歳以上になる2040年には高齢化率が35%と推測され、高齢化のピークを迎えます。埼玉県では、令和2年を過ぎると医療・介護の必要性がより高まる75歳以上の後期高齢者人口が、65歳から74歳までの前期高齢者人口を逆転することが予測されています。そこで、地域包括ケアシステムの構築が推進されています。地域包括ケアシステムとは高齢者が在宅生活に必要なサービスを包括的に利用して、住み慣れた地域でいつまでも生活することができるようにすることを目的としています。

岡病院は令和元年に、訪問リハビリと訪問看護部門を開設しました。地域医療に貢献する病院として、限られた医療資源を効果的に活用するために、急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟、訪問リハビリ、訪問看護を患者さんの必要に応じてご利用いただけるように地域連携室が中心となり調整しております。

また、昨年11月から「足からの健康づくり」を目的にフットケア外来を開設して、フットケア指導士によるケアを提供しております。足の蛸（たこ）、巻き爪などで歩くことに苦痛を体験している方には、フットケア外来の受診をお勧めします。

さて、これから訪れる「稀に入院、ほぼ在宅」時代は、点滴や経管栄養など医療的な処置が必要な患者さんでも、ご自宅で訪問看護や介護を受けながら生活することになります。今後さらに、皆様が、健康への意識を高め、自立した、楽しい生活が一日でも長く過ごせるように支援していきたいと思っております。

岡病院看護部の理念は「やさしさと、責任を持って誠実な看護をいたします」です。令和2年も患者さんやご家族の気持ちに寄り添いながら、それぞれの患者さんの状況に対応したオーダーメイドの看護が提供できるように、謙虚さと感謝の気持ちを忘れずに、努力してまいります。最後になりましたが、皆さまのご健勝をお祈りし、新年の挨拶とします。

理 念

地域医療に貢献する。

基本方針

- 1 より高度な医療と看護の提供を目指す。
- 2 患者様の立場に立った医療を実践する。

私たち岡病院職員一同は上記を実践するために以下のとおり、努力致します。

- 1 職員一同は日々研鑽し、医療の質の向上とサービス・業務の改善に努めます。
- 2 内科の二次救急病院として、地域住民の健康と福祉に寄与致します。
- 3 透析施設を有する病院として、安全で快適な治療の提供に努めます。

患者様の権利と責務について

権 利

- 1 患者様は病状・治療方針について十分な説明を受け、診療情報を得る権利をもちます。
- 2 患者様は診療情報を理解する権利をもちます。
- 3 患者様は治療方針と医療機関を選ぶ権利をもちます。
- 4 患者様はプライバシーの配慮と秘密を守られる権利をもちます。
- 5 患者様は希望にて、他の専門医に意見を聞く権利をもちます。

責 務

- 1 患者様は当院に病状・既往歴（現況も含む）・保険情報・住所等、診療に必要な情報を正しく伝える責務をもちます。
- 2 患者様は当院のルールを守り、治療に協力する責務をもちます。

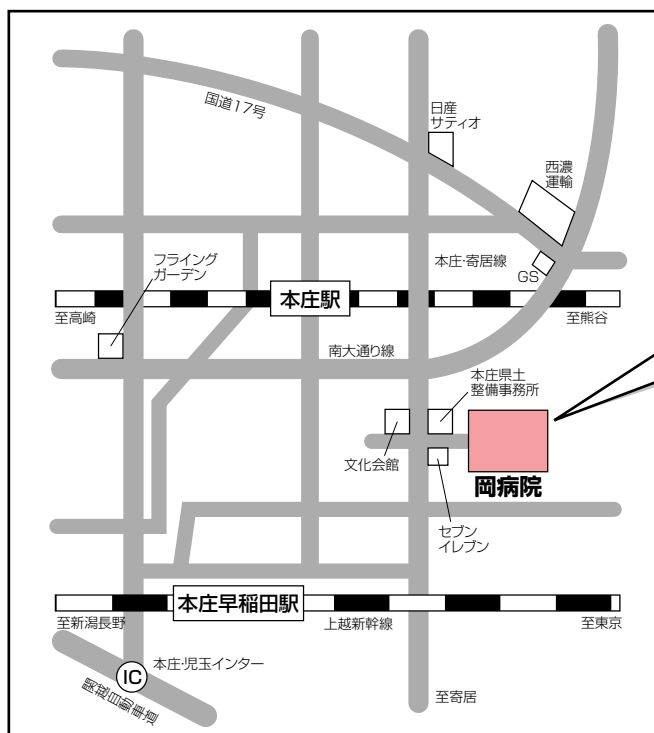
個人情報保護

当院は、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。
個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

医療相談について

療養その他でのお悩みごとやお困りのこと、ご不明のこと等がございましたら医療相談室、薬剤相談室、食事相談室にてご相談をお受けいたします。

- 1 階受付にて申し込み、又は担当の医師、看護師にお申し出下さい。



(公財)日本医療機能評価機構認定



医療法人 岡 病院
桂水会

OKA HOSPITAL

〒367-0031 埼玉県本庄市北堀810番地
TEL 0495-24-8821(代) FAX 0495-21-7640(代)
URL <http://www.oka-hospital.jp/>